

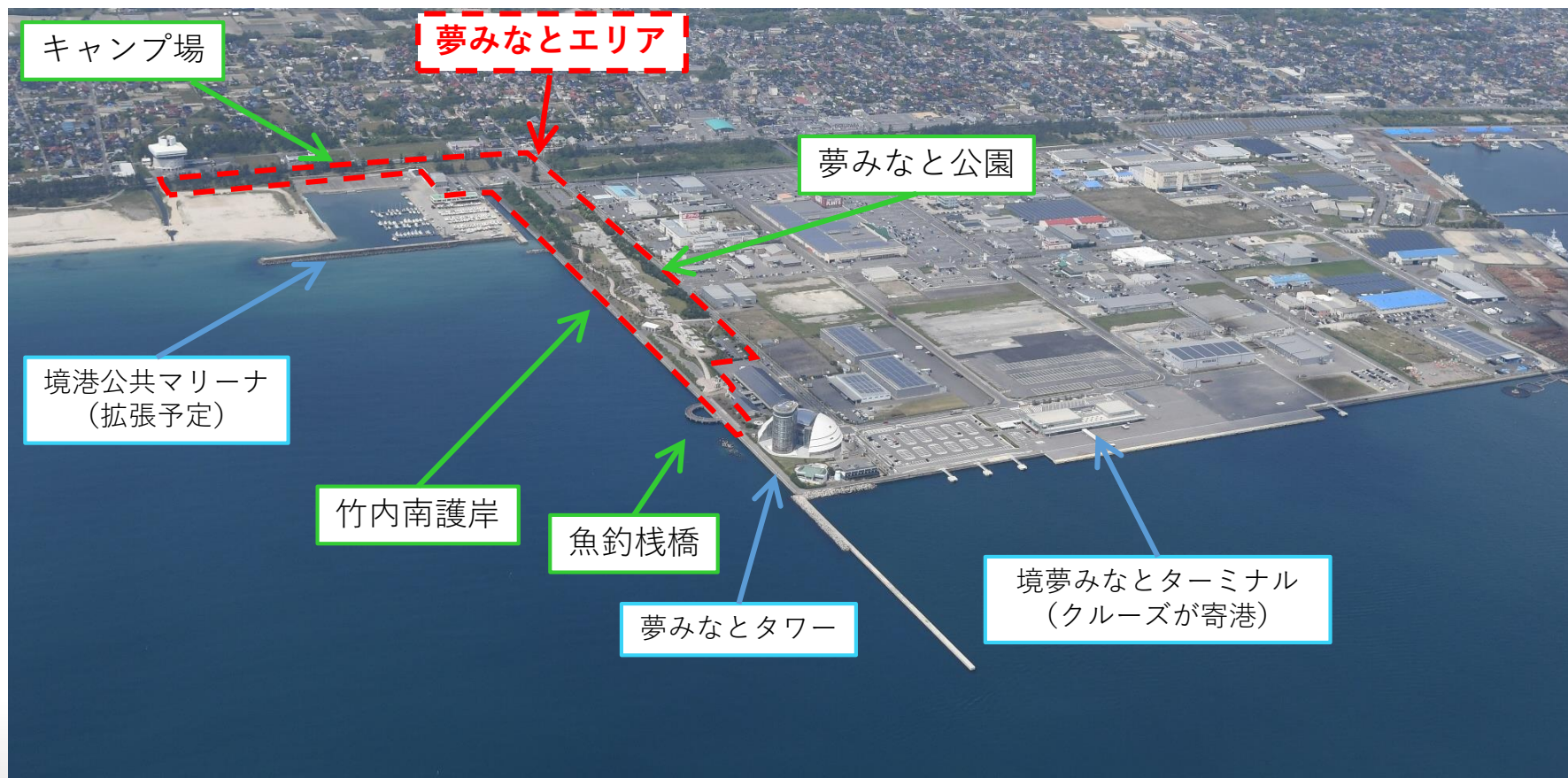
# 境港市ワークショップ (夢みなとエリアの再整備)

2024年12月26日

境港管理組合

# 1. 夢みなとエリアとは

- 夢みなとエリアとは  
⇒ キャンプ場、夢みなと公園、竹内南護岸周辺エリアのこと



## 2. 背景・課題

- 本エリアは「クルーズ船の寄港再開」「公共マリーナにおける大会誘致」等人の流れが活発化する機運が高まっています。
- エリアの抱える課題を解決し、賑わいの拠点化を目指すため、再整備の構想を検討しています。

### 夢みなとエリアの抱える課題

- ①施設の賑わい不足・利用者が少ない
- ②公園・キャンプ場の老朽化
- ③堤防が高く、安全に釣りが楽しめるスペースがない
- ④境港公共マリーナ拡張後の利用



### 目指す姿

- 誰もが安心・安全に遊べる空間づくり
- 人が集い、賑わいの拠点となる場の提供

解決策

誰もが自然に集える夢みなとエリアの再整備



# 3. ワークショップの今後の反映

- 「夢みなとエリアの再整備の構想」について検討会を開催中
- 今回のワークショップの意見を第2回検討会で報告します。
- **ワークショップの提案内容が実現する可能性があります。**

1

(第1回検討会 令和5年9月17日)

- ・ 夢みなとエリアの現状把握と課題を整理しました。

- (1) 地域の高校生へのアンケート (R5.10.23~R5.10.27)
- (2) 検討会委員への個別ヒアリング (R5.10.31~R5.11.15)
- (3) 本ワークショップ (R5.12.26)**

2

(第2回検討会 冬頃)

- ・ (1)~(3)の意見を基に、再整備の構想について検討。

3

(第3回検討会 春頃)

- ・ **夢みなとエリア再整備の構想 (案) を決定。**

## 4. (参考) これまで出された主な意見

- 弓浜半島、大山、ヨット、栈橋が見える素晴らしい景観がある。設備老朽化や除草・雑木への対応を丁寧に行うほか、地域住民に愛着を持ってもらうよう除草・植栽イベント等の開催などの仕掛けを行うだけで継続的集客への可能性がある施設。観光客だけでなく、地元の皆さんを惹き付ける工夫が必要。
- 映え写真スポットや統一感のある案内看板を設置するほか、ベンチの増設や照明の設置・演出など「歩きたくなる」仕掛けが必要。
- 施設を維持管理するため、駐車場の有料化や釣り施設の有料化等稼げる仕組みがあってもいい。
- 施設の管理は、行政だけで管理するのは限界もあることから、地域住民と連携した管理方法も検討するべき。
- マリーナ側と連携しながら、係留ヨットの写真撮影ができるような環境整備も誘客につながる。
- 釣り栈橋は初心者や家族連れでも取り組みやすい釣り施設。近隣に釣り竿のレンタルや釣り具・えさ販売の機能があればより利用しやすい。また、初心者に向けた定期的な釣り教室や情報発信機能があると、さらなる誘客につながる。
- 公園内でイベントを実施するための車輛通行路がない
- 公園を常時イベントが開催できる会場として位置づけ、機能向上を図ってほしい

## 5. (参考) 現状の課題に対する整理状況

- ◆ これまでいただいた意見については、以下3点に絞って整理しています。
- ◆ この意見も参考にして、課題に対する解決策について検討をお願いします。

Point 1 既存施設のブラッシュアップによる賑わいづくり

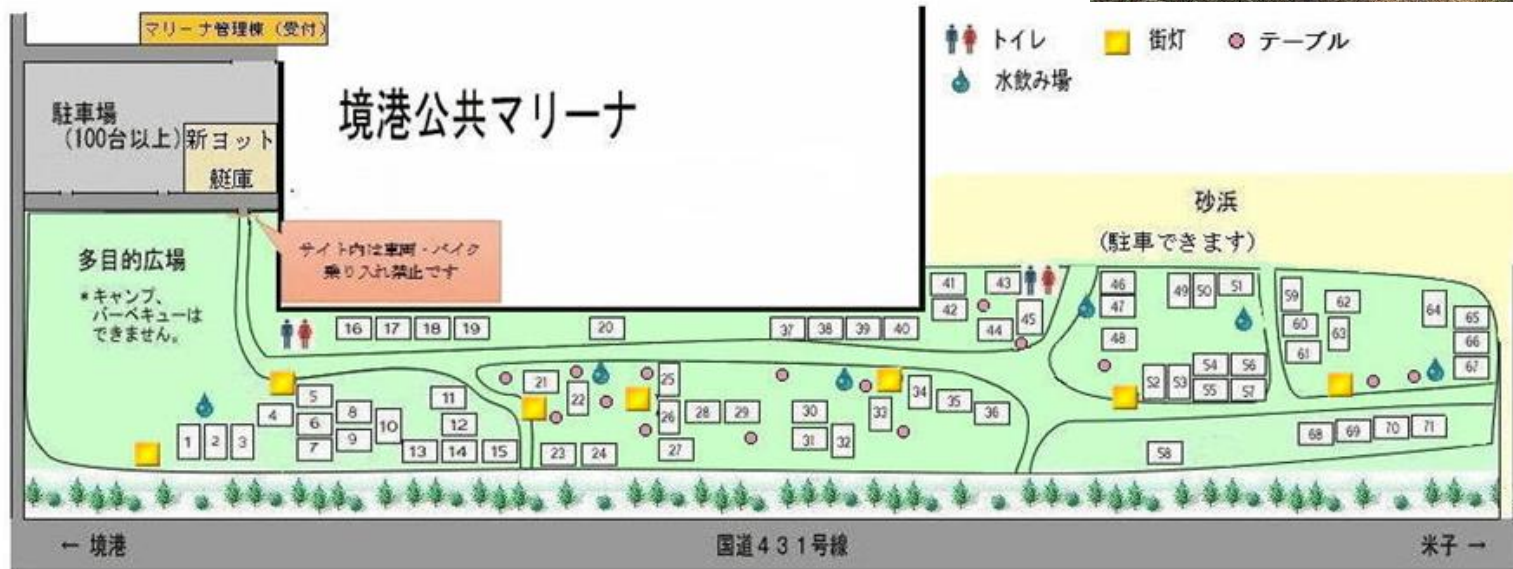
Point 2 民間企業等との連携による維持管理の方法

Point 3 マリンレジャーとの連携による賑わいづくり

# 境港公共マリーナ

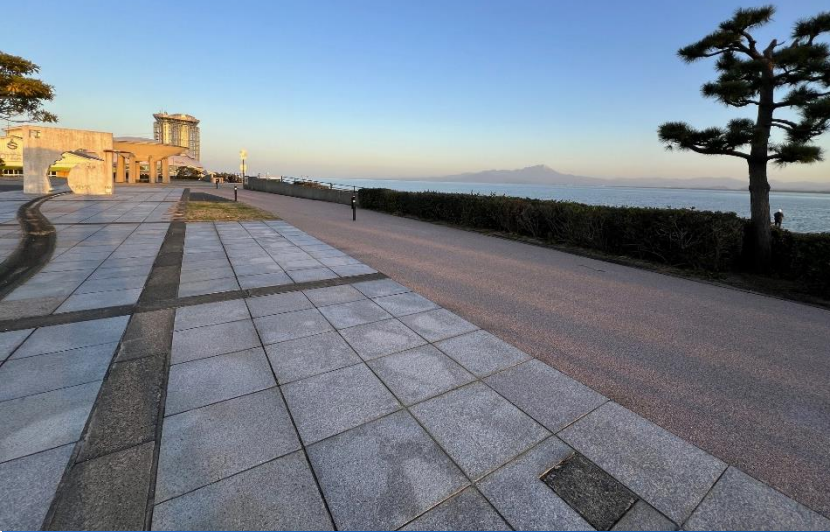


# 境港公共マリーナキャンプ場

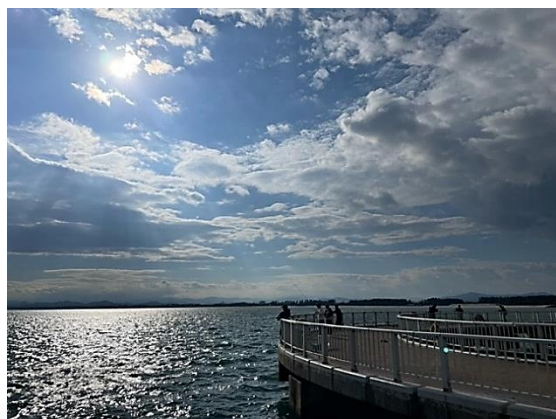




# 夢みなと公園



# 魚釣り棧橋



# 夢みなと朝市



# クルーズ船寄港風景



# 白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース

